

使用説明書

ご使用前に必ずお読みください。

202B9781461

富士写真フイルム株式会社

●本製品についてのお問い合わせは…

富士フイルム札幌営業所

〒060-0002 札幌市中央区北2条西4-2 札幌三井ビル別館

TEL (011) 218-5575

富士フイルム仙台営業所

〒980-0811 仙台市青葉区一番町4-6-1 仙台第一生命タワービル

TEL (022) 265-2149

富士フイルム東京販売所

〒106-8620 東京都港区南麻布2-26-30 竹芝ビル

TEL (03) 3406-2387

富士フイルム名古屋営業所

〒460-0008 名古屋市中区栄2-10-19 名古屋商会会館所ビル

TEL (052) 203-5262

富士フイルム大阪支社

〒541-0051 大阪市中央区備後町3-5-11

TEL (06) 6205-6421

富士フイルム広島営業所

〒732-0816 広島市南区比治山本町16-35 広島産業文化センター

TEL (082) 250-0755

富士フイルム福岡営業所

〒812-0018 福岡市博多区住吉3-1-1

TEL (092) 281-0255

●修理の受付は…

札幌：富士フイルムサービスステーション

〒060-0002 札幌市中央区北2条西4-2 札幌三井ビル別館

TEL (011) 222-3973

仙台：富士フイルムサービスステーション

〒980-0811 仙台市青葉区一番町4-6-1 仙台第一生命タワービル

TEL (022) 265-2149

東京：富士フイルムサービスステーション

〒104-0061 東京都中央区銀座5-1 銀座ファイブ

TEL (03) 3571-9411

新潟：富士フイルムサービスステーション

〒951-8067 新潟市本町通7番町1153 本町通ビル

TEL (025) 223-7731

金沢：富士フイルムサービスステーション

〒920-0864 金沢市高岡町1-39 住友生命金沢高岡ビル

TEL (076) 263-3466

静岡：富士フイルムサービスステーション

〒420-0859 静岡市茶町1-5 産産ビル

TEL (054) 255-2465

名古屋：富士フイルムサービスステーション

〒460-0008 名古屋市中区栄1-12-19

TEL (052) 202-1851

大阪：富士フイルムサービスステーション

〒541-0051 大阪市中央区備後町3-2-8 大阪長谷ビル

TEL (06) 6260-0915

富士フォトサロン・大阪

〒530-0001 大阪市北区梅田1-9-20 大阪マルビル

TEL (06) 6346-0222

高松：富士フイルムサービスステーション

〒760-0015 高松市柴置町3-1 香田第2マンション

TEL (087) 834-6355

広島：富士フイルムサービスステーション

〒732-0816 広島市南区比治山本町16-35 広島産業文化センター

TEL (082) 256-3511

福岡：富士フイルムサービスステーション

〒812-0018 福岡市博多区住吉3-1-1

TEL (092) 281-4863

鹿児島：富士フイルムサービスステーション

〒892-0838 鹿児島市新屋敷町16 公社ビル

TEL (099) 226-2515

※土曜、日曜、祝日、年末年始は休業させていただきます。その他夏期等休業させていただきます場合があります。

●東京：富士フイルムサービスステーションは、通常の土曜日（祝日、年末年始、夏期休暇以外）は営業しております。ただし、受け渡し業務のみとなります。

●富士フォトサロン・東京、大阪は受け渡し業務のみです。

●富士フイルム製品のお問い合わせは…

お客様コミュニケーションセンター（月曜日～金曜日 午前9：30～午後5：00）TEL (03) 3406-2981

富士フイルム ホームページ <http://www.fujifilm.co.jp/nexia/>

Printed in Indonesia

FGS-103105-Ci-02

カメラの特長

このたびは、弊社製品をお買い上げいただきありがとうございます。

この説明書の内容をよくご理解の上、正しくご使用ください。

- 簡単・軽量 オートフォーカスで2倍ズーム（24mm～50mm）
- 暗いところでも安心の低輝度自動発光フラッシュ内蔵
- 多彩な撮影モード（低輝度自動発光、赤目軽減、強制発光、発光停止、遠景）とセルフタイマーモード
- カートリッジぶたのセーフティロック機能付き

APS対応機能

このカメラは、APSの様々な機能に対応できます。

- フィルム装てんは失敗のない、カートリッジ、ボンズのワンタッチドロップインローディング方式
- 撮影途中でもプリントタイプ、C/H/P切り替え可能（見やすい実像式ズームファインダー）
- 撮影した全コマが1枚で見られる、インデックスプリント
- プリント表裏に入る、両面デート
- フィルムに撮影時の情報が磁気記録され、プリント品質向上に役立つ、PQI

同梱品

この製品には、カメラ本体以外に以下の付属品が同梱されています。箱を開けたときにご確認ください。

☐ リチウム電池 CR2 1本（カメラにセット済み）
☐ ソフトケース
☐ ストラップ
☐ 使用説明書
☐ 保証書

主な仕様

使用フィルム

画 面 サ イ ズ

プリントタイプ

レ ン ズ

ファインダー

距 離 調 節

シャッター

露 光 調 節

フィルム感度

フィルム装てん

フィルム給送

フラッシュ

セルフタイマー

液 晶 表 示

データ記録

電源の地

大きさ・重さ

IX240カートリッジフィルム

16.7mm×30.2mm

C/H/P切り替え式

フジノンレンズ 3群3枚構成 f=24mm～50mm 1:7～1:11.5

実像式ズームファインダー 0.35倍～0.63倍 C/H/P切り替え式 AFフレーム AFランプ

アクティブオートフォーカス 0.9m～∞ AFロック付き

遠景モード(レンズ遠距離セット、フラッシュ発光停止)

AFランプ(点灯：撮影距離OK、点滅：撮影範囲外警告)

プログラム式電子シャッター(1/2秒～1/2500秒)

自動調節 運動範囲 (ISO200) W：EV11(※10)～15

T：EV13(※10)～17 (※はフラッシュ発光停止時)

自動設定（データディスク方式による） ISO25～3200

ワンタッチドロップインローディング方式 セーフティロック機能付き 光学式装てん防止機能

電動式 自動巻き上げ 自動巻き戻し 途中巻き戻し可能

低輝度自動発光フラッシュ 充電時間：約6秒

低輝度自動発光モード／赤目軽減モード／強制発光モード／発光停止モード

電子式 3コマ連写可能 作動時間：約10秒 途中解除可能 セルフタイマーランプ付き

フィルムカウンタ― カートリッジマーク 撮影モード セルフタイマーモード デート

フィルム種類 フィルム感度 電池容量 フラッシュ充電中

磁気記録方式 各コマごとに記録 デート プリントタイプ PQI(プリント品質向上)情報

リチウム電池 CR2 1本

三脚ねじ穴付き

111.5mm×64.0mm×41.0mm(突起部除く) 160g(電池別)

※仕様・性能は、予告なく変更する場合がありますのでご了承ください。

安全にご使用いただくために

- この製品および付属品は、写真撮影以外の目的に使用しないでください。
- 製品の安全性には十分配慮しておりますが、下記の内容をよくお読みの上、正しくご使用ください。
- この説明書はお読みになった後で、いつでも見られるところに必ず保管してください。

⚠ 警 告	⚠ 注 意
この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

⚠ 警 告
<div> <div>⚡</div> <div>絶対に分解しないでください。感電の恐れがあります。</div> </div>
<div> <div>⚠</div> <div>落下などにより内部が露出したときは、絶対に触れないでください。高圧回路があり感電する恐れがあります。</div> </div>
<div> <div>⚠</div> <div>カメラ（電池）が熱くなる、煙が出る、焦げ臭いなどの異常を感じたときは、ただちに電池を取り出してください。発火ややけどの恐れがあります（電池を取り出す際、やけどには十分ご注意ください）。</div> </div>
<div> <div>⚡</div> <div>フラッシュを人の目に近づけて発光しないでください。一時的に視力に影響することがあります。特に乳幼児を撮影するときは気をつけてください。</div> </div>
<div> <div>⚠</div> <div>カメラを水中に落としたり、内部に水または金属や異物などが入ったときは、ただちに電池を取り出してください。発熱・発火の恐れがあります。</div> </div>
<div> <div>⚠</div> <div>引火性の高いガスが充満している場所や、ガソリン、ベンジン、シンナーなどの近くでカメラを使用しないでください。爆発や発火・やけどの恐れがあります。</div> </div>
<div> <div>⚠</div> <div>カメラは乳幼児の手の届かないところに置いてください。乳幼児が誤ってストラップを首に巻き付けると、窒息する恐れがあります。</div> </div>
<div> <div>⚠</div> <div>電池の分解、加熱、火中への投入、充電、ショートは絶対にしないでください。破裂の恐れがあります。</div> </div>
<div> <div>⚠</div> <div>指定以外の電池を使わないでください。発熱・発火の恐れがあります。</div> </div>
<div> <div>⚠</div> <div>電池は乳幼児の手の届かないところに置いてください。乳幼児が誤って飲み込む恐れがあります。万一飲み込んだ場合には、ただちに医師の診察を受けてください。</div> </div>

⚠ 注 意
<div> <div>⚠</div> <div>カメラをぬらしたり、ぬれた手で触ったりしないでください。感電の原因となることがあります。</div> </div>
<div> <div>⚠</div> <div>自転車や自動車・列車などを運転している人に向けて、フラッシュ発光撮影をしないでください。交通事故などの原因となることがあります。</div> </div>
<div> <div>⚠</div> <div>電池の⊕⊖を誤って装てんしないようにご注意ください。電池の破裂、液もれにより、発火、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。</div> </div>

CE

このマークは、安全性、衛生、環境及び消費者保護に関するEU（欧州連合）の要求事項を、製品が満足していることを証明するものです。（OEとはヨーロッパ認定（Conformité Européenne）の略）

取扱上のお願ひ

- カメラは精密機器ですから、水にぬらしたり、落としたりしてショックを与えないでください。
- このカメラはマイクログンピューターによって制御されているため、ごくまれにカメラが誤作動する場合があります。このようなときは、電池をいったん取り出し、再度入れ直してください。
- カメラケースに入っている、落としたり、固いものにぶつけると故障の原因になります。また、振動が加わるところ（自動車のトランクなど）に放置しないでください。
- APSでは、フィルムに磁気で情報を記録していますので、カートリッジやカートリッジが装てんされたカメラを強い磁気が発生する場所に近づけないでください。
- このカメラはマイクログンピューターによって制御されているため、ごくまれにカメラが誤作動する場合があります。このようなときは、電池をいったん取り出し、再度入れ直してください。
- 長時間お使いにならないときは、高温・多湿・有害ガス（タンスの中のナフタリン、しょうのう他）・ホリなどの影響の少ない、風通しの良いところに保管してください。
- APSでは、フィルムに磁気で情報を記録していますので、カートリッジやカートリッジが装てんされたカメラを強い磁気が発生する場所に近づけないでください。
- このカメラはマイクログンピューターによって制御されているため、ごくまれにカメラが誤作動する場合があります。このようなときは、電池をいったん取り出し、再度入れ直してください。
- 長時間お使いにならないときは、高温・多湿・有害ガス（タンスの中のナフタリン、しょうのう他）・ホリなどの影響の少ない、風通しの良いところに保管してください。
- 前記切った自動車の中などに長時間放置しないでください。

アフターサービスについて

お手持ちの製品が故障した場合には、次の要領で修理させていただきます。ご購入店または富士フイルムサービスステーションに直接お申し出ください。それ以外の責は、ご容赦いただけます。なお、保証、使い方などのご不明の点につきましては、裏面記載のお近くの弊社営業所やサービスステーションをご利用ください。

- 無料修理**
故障した製品についてはご購入年月、販売店名の記入された、ご購入日より1年以内の保証書が添付されている場合には、保証書に記載されている内容の範囲内で、無料修理させていただきます。
※詳しくは、保証書に記載されている製品保証規定をご覧ください。
- 有料修理**
保証期間を過ぎた修理は、原則として有料となります。保証期間内であっても、下記のような場合はすべて有料となります。また運賃諸掛かは、お客様にてご負担願います。

- 修理ご依頼の際、保証書の提示または添付のないもの。
- 保証書にご購入年月、販売店名が記入されていない場合、または記載事項が訂正された場合。

このようなときは

■操作中このようなときは…

このようなときは	ここをチェック	こうしてください
カートリッジを入れてカートリッジぶたを閉めたが、“E”・ が点滅している。	●撮影途中、撮影済みまたは現像済みのカートリッジを入れませんでしたか。	●カートリッジを取り出して、未使用のカートリッジを入れてください。
シャッターが切れない。	① が点滅していませんか。 ②電源は入った状態にセットされていますか。 ③ が点滅していませんか。 ④“E”が表示されていませんか。	①新しい電池に交換してください。 ②電源ボタンを操作して、撮影可能な状態にセットしてください。 ③フラッシュ充電中です。“ ”が点滅から点灯に変わるまでお待ちください（フラッシュ充電時間は約6秒）。 ④カートリッジを取り出して、未使用のカートリッジを入れてください。
カートリッジぶたが開けられない。	●撮影途中のカートリッジを取り出そうとしていませんか。	● ボタンでフィルムを巻き戻してください。モーターが止まり“E”が表示されたことを確認してからカートリッジを取り出してください。

■プリントがこのようなときは…

このようなときは	ここをチェック	こうしてください
画面がぼんやりしている。	①AF窓をかくして撮影しませんでしたか。 ②被写体のねらい方は適切でしたか。 ③レンズが汚れていませんか。 ④カメラのフレではありませんか。	①AF窓をかくさないようにしてカメラを正しく構えて撮影してください。 ②AFフレームでねらって撮影またはAFロック撮影してください。 ③レンズをきれいにしてください。 ④カメラをしっかり構え、シャッターボタンを静かに押してください。スローシャッター時は三脚を使用してください。 ⑤▲モード以外で撮影してください。
画面が暗い。	①暗いところでのフラッシュ撮影で、被写体が遠すぎませんでしたか。 ②フラッシュ撮影時にフラッシュ発光部に指が掛かっていますませんでしたか。	①規定のフラッシュ撮影範囲内で撮影してください。 ②フラッシュ発光部に指を掛けないでください。
デート（年月日／時分）が合っていない。	●電池を入れたとき、もしくは電池交換時に修正しましたか。	●電池を入れたとき、もしくは電池を交換したときは、日付と時間を修正してください。
表面にデートが印字されていない。	①デートモードを“-----”にして撮影しませんでしたか。 ②表面の印字はプリントサービス対応していないお店があります。	①“-----”以外のデートモードを選択して撮影してください。 ②お店にご相談ください。

準備編 1. ストラップを取り付けます

ストラップ取り付け部にストラップを通し、取り付けます。

市販のストラップをご使用になる場合は、ストラップの強度をご確認の上、ご使用ください。携帯電話、PHS用ストラップは軽量機器用ですので、ご使用の際は特にご注意ください。

2. 電池を入れます

＊工場出荷時に電池はセットされています。

■使用する電池

★リチウム電池

フジフイルム

リチウム CR2 1本

撮影前には必ず電池容量をチェックしてください。

＊電池を交換した場合には必ずデートを合わせてください。

①

電池ぶたを開けます。

②

表示に従って電池を入れます。

③

電池ぶたを閉めます。

＊電池ぶたに無理な力を加えないでください。

3. 電池容量のチェック

①

:点灯

②

:点灯

③

:点滅

電源を入れ、液晶表示部で電池容量をチェックします。

①電池の容量はOKです。

②電池の容量が不足しています。

③電池容量がなくなったため、シャッターは切れません。新しい電池と交換してください。

＊撮影前には必ず電池容量をチェックしてください。

＊電池の交換は撮影途中のカートリッジが入っていても可能です。

4. デート（年月日／時分）の合わせ方

＊工場出荷時にデートはセットされています。

①

電源を入れて、日付/セレクトボタンを2秒以上押し続けます。

②

“年”が点滅し、デート修正モードになります。

③

“年”→“月”→“日”→“時”→“分”の順に項目が移ります。

④

“分”を合わせたら、日付/セレクトボタンを押してデート合わせを終了します。

①電源を入れて、日付/セレクトボタンを2秒以上押し続けます。

“年”が点滅し、デート修正モードになります。

②セットボタンを押して、点滅している数字を修正します。

③日付/セレクトボタンを押すと、次の設定項目に移ります。

“年”→“月”→“日”→“時”→“分”の順に項目が移ります。

④“分”を合わせたら、日付/セレクトボタンを押してデート合わせを終了します。

“時”に合わせたいときは、時報のゼロ秒時に日付/セレクトボタンを押します。

＊“年月日”は“時分”に連動して変わります。

5. デートモードの選択

APSDでは

デート（年月日／時分）は、アルバムにはって見える表と整理に便利な裏に印字されます。

＊表面の印字はお店によっては対応できない場合がありますので、お店にご確認ください。

＊表面に印字されたデートが背景によっては見えにくくなる場合があります。

＊焼き増し時にデートを入力しない日の変更も可能です（お店によっては対応できない場合がありますので、お店にご確認ください）。

電源を入れて日付/セレクトボタンを押すと、デートモードを選択できます。

☞選択したモードが撮影時に記録され、プリントに印字されます。

■この使用説明書の表記について
☞：参考になる情報などの記載
＊：注意などの記載

各部の名称

液晶表示部

赤目軽減／セルフタイマーランプ

途中巻き戻しボタン

電源ボタン

シャッターボタン

AE受光窓

AFランプ(緑)

電池ふた

ファインダー接眼部

三脚ねじ穴

日付／セレクトボタン

セルフタイマー／セツトボタン

撮影モードボタン

ファインダー窓

フラッシュ発光部

AF(オートフォーカス)窓

撮影レンズ／レンズカバー

プリントタイプ切り替えつまみ

ズームボタン

ストラップ取り付け部

カートリッジふた開放つまみ

カートリッジふた

■液晶表示部 (すべての表示が現れている状態)

遠景

強制発光

発光停止

フラッシュ充電中

赤目軽減

カートリッジマーク

セルフタイマー

電池容量

フィルムカウンター／セルフタイマー回数

デート／フィルム種類／フィルム感度

プリントタイプの切り替え

APSでは

3つのプリントタイプ(C/H/P)を切り替えることができます。

Cタイプ(2:3)

Hタイプ(9:16)

Pタイプ(1:3)

*()内は縦横比です。

Cタイプ 約16mm×23mm

Hタイプ 約16mm×28mm

Pタイプ 約10mm×28mm

基本編

1. 電源のON/OFF

電源ボタンを押して電源を入れます。もう一度押すと電源が切れます。
電源を入れるとレンズカバーが開き、液晶が表示されます。

*電源を入れたまま約7分間放置すると、電源は自動的に切れます。

電源を入れるときにレンズ部を指で押さないでください。

2. カートリッジを入れます

APSではIX240カートリッジフィルム(以後カートリッジ)を使用します。
カートリッジに1の○が白く表示されていることを確認してください。D3□が白くなっているカートリッジでは撮影できません(光学式誤装でん防止機能)。

電源を入れて、A部に「E」が表示されていないことを確認します。
*「E」と「E」が表示されているときは、カートリッジを取り出してください。
*フィルムカウンターと「E」が表示されているときは、撮影途中のカートリッジが入っているため、カートリッジふたを開放できません(セーフティロック機能)。新しいカートリッジに交換する場合は、「撮影途中でカートリッジを取り出すには」をご参照ください。

電源を入れて、A部に「E」が表示されていないことを確認します。
*「E」と「E」が表示されているときは、カートリッジを取り出してください。
*フィルムカウンターと「E」が表示されているときは、撮影途中のカートリッジが入っているため、カートリッジふたを開放できません(セーフティロック機能)。新しいカートリッジに交換する場合は、「撮影途中でカートリッジを取り出すには」をご参照ください。

電源を入れて、A部に「E」が表示されていないことを確認します。
*「E」と「E」が表示されているときは、カートリッジを取り出してください。
*フィルムカウンターと「E」が表示されているときは、撮影途中のカートリッジが入っているため、カートリッジふたを開放できません(セーフティロック機能)。新しいカートリッジに交換する場合は、「撮影途中でカートリッジを取り出すには」をご参照ください。

3. さあいよいよ撮影です

電源を入れ両脇を締め、カメラを両手でしっかり構えます。
縦位置撮影ではフラッシュ発光部が上にくるように構えます。

電源を入れて、A部に「E」が表示されていないことを確認します。
*「E」と「E」が表示されているときは、カートリッジを取り出してください。
*フィルムカウンターと「E」が表示されているときは、撮影途中のカートリッジが入っているため、カートリッジふたを開放できません(セーフティロック機能)。新しいカートリッジに交換する場合は、「撮影途中でカートリッジを取り出すには」をご参照ください。

電源を入れて、A部に「E」が表示されていないことを確認します。
*「E」と「E」が表示されているときは、カートリッジを取り出してください。
*フィルムカウンターと「E」が表示されているときは、撮影途中のカートリッジが入っているため、カートリッジふたを開放できません(セーフティロック機能)。新しいカートリッジに交換する場合は、「撮影途中でカートリッジを取り出すには」をご参照ください。

電源を入れて、A部に「E」が表示されていないことを確認します。
*「E」と「E」が表示されているときは、カートリッジを取り出してください。
*フィルムカウンターと「E」が表示されているときは、撮影途中のカートリッジが入っているため、カートリッジふたを開放できません(セーフティロック機能)。新しいカートリッジに交換する場合は、「撮影途中でカートリッジを取り出すには」をご参照ください。

4. AF(オートフォーカス)ロック撮影

このような構図ではAFフレームが被写体(この場合は人物)から外れています。このままでは被写体にピントが合いません。

AFフレームに被写体が入るようにカメラを動かします。

そのままシャッターボタンを半押し(AFロック)します。
AFランプ(緑)の点灯を確認します。

シャッターボタンを半押し(AFロック)したまま最初の構図に戻して、シャッターを切ります。

5. カートリッジを取り出します／撮影途中でカートリッジを取り出します

カートリッジを取り出すには

最後の1コマを撮り終わると、フィルムが自動的に巻き戻されます。
必ずモーターが止まり「E」が表示されたことを確認してください。「E」が表示される前にカートリッジふたを開けようとすると、カメラが故障したりフィルムが感光する恐れがありますのでご注意ください。

カートリッジふた開放つまみを動かします。

カートリッジふたを開けます。
*カートリッジふたに無理な力を加えないでください。

カートリッジを取り出します。
*カートリッジに3の3(撮影済み)が白く表示されます。

応用編

1. 撮影モードの選択

表示なし

電源を入れると、撮影モードを選択できます。
表示なし→→→の順に切り替わります。

電源を入れると、撮影モードを選択できます。
表示なし→→→の順に切り替わります。

低輝度自動発光モード

表示なし) 低輝度自動発光モード
赤目軽減モード
強制発光モード
発光停止モード
遠景モード

選択できる撮影モードは次のとおりです。
●低輝度自動発光モード、赤目軽減モードは、電源が切れても保持されます。
●強制発光モード、発光停止モードは、電源が切れると自動的に解除されます。
●遠景モードは、撮影後または電源が切れると解除されます。

2. セルフタイマー撮影

電源を入れ、ボタンを押します。
セルフタイマー撮影では、連続撮影回数(3コマまで)を選択できます。
「!」→「2」→「3」の順に切り替わります。

電源を入れ、ボタンを押します。
セルフタイマー撮影では、連続撮影回数(3コマまで)を選択できます。
「!」→「2」→「3」の順に切り替わります。

電源を入れ、ボタンを押します。
セルフタイマー撮影では、連続撮影回数(3コマまで)を選択できます。
「!」→「2」→「3」の順に切り替わります。

表示なし 低輝度自動発光モード

通常の撮影に使用します。
暗いところでは自動的にフラッシュが発光します。

赤目軽減ランプが点灯している間、AFランプは点灯し続けます。AFランプ点灯してからフラッシュが発光するまでカメラを動かさないでください。

赤目軽減モード

人物を暗いところでフラッシュ撮影した場合、目が赤く写ることがあります。これは、フラッシュの光が目の中で反射することにより起こる現象です。赤目を起こりにくくするためには、赤目軽減モードを使用すると共に、撮られる人にカメラの方に視線を向けてもらう
なるべく近づいて撮影するなどするとより効果的です。

赤目軽減ランプが点灯している間、AFランプは点灯し続けます。AFランプ点灯してからフラッシュが発光するまでカメラを動かさないでください。

強制発光モード

窓際や木陰などの逆光撮影に使用します。
明るいところでもフラッシュが発光します。

室内照明を利用したの撮影、舞台や室内競技などのフラッシュ光が届かない距離での撮影などに使用します。
フラッシュの発光を停止します。

発光停止モード

室内照明を利用したの撮影、舞台や室内競技などのフラッシュ光が届かない距離での撮影などに使用します。
フラッシュの発光を停止します。

室内照明を利用したの撮影、舞台や室内競技などのフラッシュ光が届かない距離での撮影などに使用します。
フラッシュの発光を停止します。

遠景モード

風景をきれいに撮りたいときや、ガラス越しの遠景や遠い夜景の撮影などに使用します。
ピントが遠方にセットされます。フラッシュは発光しません。

1回の撮影ごとに解除されます。
暗いところで撮影するときは、手ブレ防止のため三脚の使用をおすすめします。

2. セルフタイマー撮影

電源を入れ、ボタンを押します。
セルフタイマー撮影では、連続撮影回数(3コマまで)を選択できます。
「!」→「2」→「3」の順に切り替わります。

電源を入れ、ボタンを押します。
セルフタイマー撮影では、連続撮影回数(3コマまで)を選択できます。
「!」→「2」→「3」の順に切り替わります。

電源を入れ、ボタンを押します。
セルフタイマー撮影では、連続撮影回数(3コマまで)を選択できます。
「!」→「2」→「3」の順に切り替わります。